

## PROFILE

落語家 桂慶枝

1961年生まれ、大津市出身。  
1984年3月桂三枝(現・六代桂文枝)に入門。2007年11月、第1回繁昌亭創作賞受賞。2024年秋に三風改め「五代目桂慶枝」を襲名し、全国で襲名披露公演を開催。

KUSATSU BOOSTERS  
新春対談草津が  
ふるさとみんなで笑って、  
心も体も健幸に

落語家 桂慶枝さん



一昨年、落語家として114年ぶりの復活となる名跡を襲名した、KUSATSU BOOSTERSの桂慶枝さん。全国で活躍する慶枝さんに、草津での思い出や落語に対する思い、笑いと健幸について、橋川市長と語り合っていました。

## 「桂慶枝」襲名に込めた思い

**市長** あけましておめでとうございます。令和6年9月に「桂三風」改め、上方落語の名跡「桂慶枝」を襲名されましたこと、改めてお慶び申し上げます。全国で襲名披露公演を

だん仲間外れになってしましまして。その頃は、郷土クラブで草津の歴史を勉強し、古墳群を巡ったり、土器探しに行ったりしていました。  
**市長** 小学生で古墳を巡り歩いておられたんですね。その後、中学校生活はどうでしたか。

**慶枝さん** 大阪にいた時は人気者だったのに、草津で面白いことを言っても、ちょっと話題が違ったんです。中学入学をきっかけにして自分を変えよう、中学で面白いことをいっぱいやりたいなと考えていました。

そのような時に、たまたま書店で『艶話落語全集』という本を見つけた。興味があまり買って読んでみたら、落語を短くまとめた本でした。それをホームルームでやったら、すごく受けたんですよ。それで落語に目

覚めました。高校は落語研究会がある学校を選び、人気者になりました。  
**市長** 落語家への第一歩は、草津での中学校生活にあったのですね。  
**慶枝さん** 草津で過ごした12年間で、僕の人生を決めてくれたと思っています。だから、僕にとって「ふるさと」は草津なんですよ。

「今」の笑いを創りたい！  
新たな落語スタイルを考案

**市長** どういう経緯で、桂文枝師匠に弟子入りされたのですか。

**慶枝さん** 大学時代、枝雀師匠に憧れて「三枝と枝雀」というテレビ番組のオーディションを受けて、レギュラーになりました。でも、枝雀師匠は楽屋ですっと稽古していて、とても話し掛けられない。逆に、三枝(現在は文枝)師匠は最初に会ったとき、いろいろなことを教えてもらいました。大学でも落語研究会に所属していて、自分で落語を創っていたので、新作落語を始めておられた文枝師匠に弟子入りを志願しました。  
**市長** 慶枝さんは今も新作落語に力を入れておられますね。

開催され、昨年8月の草津市での襲名披露公演も、客席と一体となった笑いで大盛況でした。

**慶枝さん** ありがとうございます。草津での襲名披露公演には、たくさんの方に越えいただき、草津とのご縁は非常にありがたい感謝しています。

**市長** 「桂慶枝」の名跡は、明治43(1910)年以來の復活とお聞きしています。名跡を継がれた今、どのようなお気持ちですか。

**慶枝さん** 先代の四代目慶枝は、東京の落語協会の会長にもなっているのですが、どのような落語をやっていたのか、100年以上も前の方だから直接知っている方がなくて、あまり分かっていないのです。「慶枝」を一から作り直すような気持ちで自由にできて、かえってありがたいです。

**市長** 昨年2月にはKUSATSU BOOSTERSのメンバーに就任いただき、ありがとうございます。

**慶枝さん** 現在のお話で人情や機微を表して笑わす「今のお笑い」を追求していて、新作を主にやっています。昭和・平成・令和と新作を創り続けてこられた文枝師匠のように、今後も受け継がれていくような、自分らしい新しい落語を創れるようになるのが目標です。

**市長** 慶枝さんといえば「客席参加型落語」。客が話の登場人物として声を出したり拍手をしたりして参加し、公演はいつも大盛況と聞いています。草津での公演でも観客と一緒にやってもらえました。客席参加型落語はどのようにして誕生したのでしょうか。

**慶枝さん** 5分間の落語を集める会が上方落語協会で開催されることになり、5分をどうするか考えていたときに、たまたまテレビショッピンで視聴者が「おー」「えー」とやっているのを見ていたんです。落語でお客さんにやってもらったら、面白いのではないかというのが発想の原点です。

**市長** 着想の源がテレビショッピンとは驚きです。  
**慶枝さん** 前にいるお客さんが僕の

**慶枝さん** KUSATSU BOOSTERSになったので、それぞれの地域のまちづくりセンターで落語会をやりたいと考えています。地域ごとのいろいろなエピソードを伺い落語を創って、各まちづくりセンターや草津宿本陣などでも発表会ができればと思っています。

**市長** 楽しみにしています。今後ますますのご活躍を期待しています。

多感な時代を過ごした  
草津が「ふるさと」

**市長** 小学校4年生から大学生までの約12年間、草津に住んでおられたそうですね。

**慶枝さん** 大津市で生まれて、2歳で大阪府の茨木市に引っ越ししました。前回の万博をやっていた頃で、茨木市は急成長して大きなまちになっていました。小学校4年生の時に草津市に引っ越してきたのですが、当時の草津は田舎でした。遊ぶといったら、虫を捕まえて森に入ったり、琵琶湖で魚を釣ったりしていたのですが、僕はできなかったです。「都会っ子」ぶっていたのでしょね。だん

史跡草津宿本陣  
(草津一)

江戸時代、大名や公家などが休泊した本陣。江戸時代の雰囲気を感じてみてください。

④ 9:00~17:00  
(入館は16:30まで)  
月曜日を除く  
(祝日の場合は翌日)  
☎ 561-6636

今日の  
撮影場所



落語の中に参加してきたら、もっと楽しんでもらえるのではないかと考えたのが、客席参加型落語です。一瞬で、お客さんを引き込みます。これは新しい落語のスタイルだなどと思い、最初に編み出したという位置付けをしたくて、商標登録をしました。今は登録も切れていますが、自分だけでなく「客席参加型」が落語のスタイルとして当たり前になったらいいいなと思っています。



### 住みよさランキング全国6位 自然が豊かで元気なまち・草津

**市長** 草津市は東洋経済新報社「住みよさランキング2025」で、全国812都市の中で第6位になっています。

**慶枝さん** 全国で6位ですか！住んでいた草津が選ばれるのはうれしいですね。

**市長** 草津市の魅力は、J・R草津駅と南草津駅の両駅を中心に市街地が形成され、駅周辺には商業施設や高層住宅が建ち並び、京都まで約20分、大阪まで約50分と交通が便利であるとともに、琵琶湖周辺の豊かな自然に恵まれているところです。草津宿本陣をはじめとする歴史的な建造物が伝わるなど、東海道と中山道が分岐合流する宿場町として栄えてきた歴史があり、今も人口が増加している元気なまちです。

**慶枝さん** 僕の中では、草津は本当に自然が豊かというイメージです。中学生の頃に近江大橋ができて、毎朝、近江大橋を渡って膳所まで往復5kmぐらいジョギングをしていました。その頃は葦原がずっと続いていた。

は、どのような施設ですか。

ていきたいと考えています。本当はそれが難しいのですが。

**市長** 「笑う門には福来たる」といいますし、笑いによって免疫力が高まったり、幸福を感じる神経物質が分泌されたりするという研究報告もあります。落語によつての笑いは、非常に有益だと思います。

### みんなで集っておしゃべり 交流できる場づくり

**市長** 健幸都市づくりの取り組みとして、市民の憩いの場、活動・運動の場として「草津川跡地公園」を整備し、また「くさつ健幸ステーション」も市内各地に整備しています。

**慶枝さん** 「くさつ健幸ステーション」



**慶枝さん** うちの母親は脚が痛くて体操とかできないというのですが、そういうグループに参加して、話し相手がいればいいでしょうね。そうした集う機会をたくさん作っていたら、皆さん元気になれるのではないかと思います。

**市長** 草津市民の平均寿命は全国でトップクラス。厚生労働省は国勢調査などから市区町村別の平均寿命を推計していますが、令和2(2020)年には、全国1,887の市区町村の

て、爽やかな朝の風を受けながら走っていたのを覚えています。

**市長** 近江大橋の辺りは風光明媚なところですよ。比叡山や比良山系、三上山が見えたりしていたのでしょうね。



### 心も体も健やかに幸せに 「健幸都市くさつ」

**市長** 草津市では、誰もが生きがいを持ち、健やかに幸せに暮らせるまちをめざして「健幸都市」づくりに取り組んでいます。適度な運動とバランスの取れた食事、十分な睡眠、そしておしゃべりや社会活動で人と交流することは、体の健幸、そして心の健幸にもつながっていくと考えています。地域の中で助け合い、支え合いながら、自分らしく暮らせることが大切だと考え、いろいろな取り組みを進めているところです。慶枝さんは、体の健康のために心掛けておられることはありますか。

中で男性が第9位、女性が第4位になっています。

**慶枝さん** それはすごいですね！

**市長** 高齢者が食事をしながらおしゃべりを楽しむ、人と交流してつながりができる「地域サロン」の取り組みも各地域で行ってもらっていますし、食生活の改善などの活動をされている「健康推進員」の皆様も活躍されています。市民の皆様もさまざまな取り組みが、草津市の平均寿命が高いことに表れていると思います。

**市長** 草津市は誰もが健やかに幸せに暮らせるまち「健幸都市くさつ」をめざしています。市民の皆様には、今年はぜひ落語を聴いていただいて、笑いを意識していただければと思います。家族や友人との何気ない会話や楽しいひととき、またその日の面白い話題に触れるだけでも、心が軽やかになるものです。笑顔が皆様の周囲を明るくし、草津市全体が本年も笑顔あふれるまち、活力と魅力あふれるまちになることを願っています。

### 笑いの絶えない午年を祈願

**市長** 本年は午年。馬は力強く駆け抜ける姿から、古来より活力や躍進の象徴とされてきました。桂慶枝様のさらなるご活躍、ご躍進を期待しています。

**慶枝さん** 午年なのでさらに馬力を出して、ふるさと草津のために面白い落語を創って、皆さんにたくさん聴いていただけるようにがんばります。目標は年2回、まちづくりセン

**慶枝さん** 秋田犬を飼っていて、大型犬は1日5kmぐらい歩かせないといけないですよ。朝と夜、犬の散歩をしながら、落語の稽古もしています。あとは毎朝、落語の映像を見ながら、1時間ほどストレッチをしています。

**市長** 歩きながら落語の練習をする、と体も頭も使っているわけで、それは健幸にいいですよ。心の健幸については何か意識されていますか。

**慶枝さん** 人を中傷するような笑いはいらないように、みんなに喜んでもらえる、みんなが楽しめる笑いを創っ

ターでの落語会です。皆さんの地域のお話を創って、皆さんのお近くへ落語をお届けに行きます。ぜひ来てください！

**市長** 草津市は誰もが健やかに幸せに暮らせるまち「健幸都市くさつ」をめざしています。市民の皆様には、今年はぜひ落語を聴いていただいて、笑いを意識していただければと思います。家族や友人との何気ない会話や楽しいひととき、またその日の面白い話題に触れるだけでも、心が軽やかになるものです。笑顔が皆様の周囲を明るくし、草津市全体が本年も笑顔あふれるまち、活力と魅力あふれるまちになることを願っています。

